

XⅢ－３．調査方法と調査結果

(1) 調査方法

1) 調査の設計

本事例の特性を踏まえ、調査方法について以下のように設計した。

本調査と同時時期に、「日向駅前地区のまちづくりに関するアンケート調査」((財)都市づくりパブリックデザインセンター実施)が行われていたため、参考させて頂いた。

ヒアリングについては、住民が中心となったまちづくりと一体となって整備を行っていることから、まちづくり団体代表者にヒアリングを実施した。まちづくり団体は、中心市街地活性化の中心となって活躍し、かつ日向市との協議に参加をしている団体を対象とした。また、街区事業で建築設計に携わっている建築設計業者(建築士会青年部)についてもヒアリングを実施し、駅舎や駅前広場、周辺景観との関係性や、事業を通しての意識変化などについて伺った。

定点観測調査については、駅前広場が整備途中であったため、駅前広場での利用(イベント等)を把握することが難しいと考え、今回は平日に絞って利用実態調査を行った。

表 調査手法と調査内容

調査手法	対象	手法	調査内容
アンケート調査	整備対象位置周辺の地元住民	既存アンケート調査(「日向駅前地区のまちづくりに関するアンケート調査」平成18年5月実施)参考	郵送 ○意識変化 ○活動変化
	整備対象の位置する市町村の地域住民	—	—
	現地来訪者(観光客を含む)	—	—
ヒアリング調査	事業主体(行政)関係者	①宮崎県県土整備部 ②日向市建設部	訪問ヒアリング ○意識変化 ○活動変化 ○空間変化 ○その他
	利用団体	①日向商工会議所 ②街育て隊 ③こども遊センター ④日向木の芽会 ⑤商店街組合	訪問ヒアリング ○意識変化 ○活動変化
	設計関係者	①建築士会青年部	○意識変化 ○活動変化
	対象建築物等所有者	—	訪問ヒアリング ○意識変化 ○空間変化
定点観測調査	平日	—	○活動変化

2) アンケート調査票

日向駅前地区のまちづくりに関するアンケート調査

■お答えいただく方についてお聞きします

(該当するものに○印をつけてください)

1. 性別 ① 男性 ② 女性
2. 年齢 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代
⑥ 60代 ⑦ 70歳以上
3. 職業 ① 自営業 ② 会社員等 ③ パートタイマー ④ 専業主婦
⑤ 無職 ⑥ 学生 ⑦ その他()
3. 住居形態 ① 住宅のみ ② 店舗兼住宅 ③ 事務所兼住宅 ④ アパート
⑤ その他()
4. お住まい(町内名:)

■鉄道の高架化について高架化前と比較した感想をお聞きします

ー昨年(平成18年12月)に鉄道が高架化され、踏切がなくなりましたが、以前と比較したご感想についてお聞きします。

(該当するものに○印をつけてください)

<自動車のご利用について>

5. 自動車をご利用する上で、以前と比べ交通渋滞は解消されましたか。

- ① 解消された
- ② やや解消された
- ③ 以前と変わらない
- ④ その他()

6. 自動車をご利用する上で、以前と比べ安全面は良くなったと感じますか。

- ① 良くなった
- ② やや良くなった
- ③ 以前と変わらない
- ④ その他()

7. 自動車をご利用される上で、具体的に便利になったことがありますか。

(例・職場や病院などへ行くのに、以前よりも〇〇分早く到着できるようになった、等)

<自動車のご利用面で、具体的に便利になったこと等があれば、お書きください>

<自転車のご利用について>

8. 自転車をご利用される時、以前と比べ東西の行き来は良くなったと感じますか。

- ① 良くなった
- ② やや良くなった
- ③ 以前と変わらない
- ④ その他()

9. 自転車をご利用される時、以前と比べ安全面は良くなったと感じますか。

- ① 良くなった
- ② やや良くなった
- ③ 以前と変わらない
- ④ その他()

<その他、自転車のご利用面でご意見があればお書きください>

<歩行者のご利用について>

10. 歩行する上で、以前と比べ東西の行き来は良くなったと感じますか。

- ① 良くなった
- ② やや良くなった
- ③ 以前と変わらない
- ④ その他()

11. 歩行する上で、以前と比べ安全面は良くなったと感じますか。

- ① 良くなった
- ② やや良くなった
- ③ 以前と変わらない
- ④ その他()

<その他、歩行者のご利用面でご意見があればお書きください>

21. 西口完成記念など、さまざまな多くのイベントが開催されていますが、どう思いますか。
また、その具体的な理由は何ですか。

- ① 大変良いと思う、今後も開催して欲しい
- ② 良いと思う
- ③ 開催する必要はない
- ④ わからない
- ⑤ その他()

<具体的な理由をお書きください>

22. 新しくなった駅舎や駅前広場、さらに今後は広場公園も整備される予定です。
これらの公共空間の維持管理について、できれば市民の皆さんにご協力を仰ぎ、
市民の皆さんで手入れし、育てていただきたいと考えています。

(1) そのような手入れ(メンテナンス)のイベントを開催するとしたら、
参加していただけますか？

- ① ぜひ参加したい
- ② 具体的な内容次第では参加しても良い
- ③ 参加したくない
- ④ わからない
- ⑤ その他()

(2) 公共空間の維持管理のために、このようなイベントの参加費を募るとしたら、いかがでしょうか？
(参加費は、維持管理にかかる材料費等のみにあてるものとします)

- ① 参加費を払っても良い
(例えば、一人あたりの参加費はおいくら位であれば、妥当とお考えでしょうか?)
(1) 10円 (2) 50円 (3) 100円 (4) 200円
- ② 無料ならば参加しても良い
- ③ わからない
- ④ その他()

<維持管理などについて具体的なご意見やアイデアなどがあればお書きください>

※その他、まちづくりなどについて、取り組んでほしいこと、改善してほしいこと、などがありましたら、自由な意見を聞かせてください

<自由意見をお書きください>

ご協力ありがとうございました！

(2) 調査結果

1) 調査結果概要

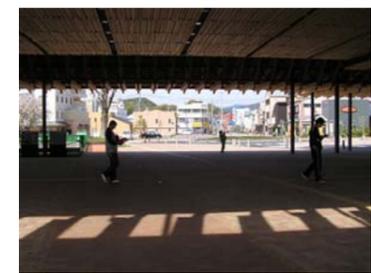
事例名称	事業分野・施設所在地	事業主体	事業特性		
XI 日向市駅周辺地区整備	駅・駅前広場 宮崎	JR九州、宮崎県、日向市	改修整備、複合的整備、P Iの実施あり、大規模（地域全体へ影響）		
調査結果概要					
現地での調査	対象	手法	捉えられた効果		
			意識変化	活動変化	空間変化
利用者	利用者へのアンケート調査 日向市民1500世帯（うち商業者500） 回収数：253（うち商業者94） 回収率：16.9%	郵送	○まちのシンボルになったと感じる ○わが町への誇りと感じる ○地域性の再認識・再発見できた ○杉産地の歴史に対して誇りを持つようになった ○日向市の地形、町並みを再発見できた ○駅周辺の印象が良くなった ○駅間広場の利用しやすさ	○回遊性の向上 ○駅周辺におけるコミュニティの形成 ○駅周辺でのイベント開催 ○駅前広場での利用の変化 ○清掃などの維持管理活動の実施 ○駅のプラットフォームからまわりの景色を眺める	○地元産材を用いた建物のファサードの形成
	利用団体へのヒアリング調査 日向商工会議所 街育て隊 子ども遊センター 日向木の芽会 商店街組合	訪問ヒアリング	○まちのシンボルになったと感じる ○わが町への誇りと感じる ○地域性の再認識・再発見できた ○杉産地の歴史に対して誇りを持つようになった ○地域の連帯感が形成された ○駅周辺の印象が良くなった ○駅に対する親しみ・愛着	○駅周辺におけるコミュニティの形成 ○駅周辺でのイベント開催 ○駅前広場での利用の変化 ○清掃などの維持管理活動の実施	○連帯した商業活動の活性化 ○軒先空間の工夫、雰囲気向上 ○周辺施設の連帯性の向上
	定点観測調査	平日・土日		○駅のプラットフォームからまわりの景色を眺める	
周辺施設	対象建築物等所有者等へのヒアリング調査 助成対象物件、現地調査で得た情報を対象にヒアリング	訪問ヒアリング			○地元産材を用いた建物のファサードの形成 ○連帯した商業活動の活性化 ○建物ファサードの統一 ○軒先空間の工夫、雰囲気向上 ○周辺施設の連帯性の向上
行政	行政担当者・設計者へのヒアリング 宮崎県県土整備部 日向市建設部 建築士青年部会 設計者	現地でのヒアリング	○景観整備に対する意識の変化 ○地域の連帯感が形成された		○建物の屋根の統一
景観整備による効果		具体内容			
意識変化	整備した空間の機能向上に対する認知	・新駅舎の利便性が良くなった ・東西駅前広場の利便性が良くなった			
	造形・施設・空間の印象評価	・駅舎に地場産材を使用したことが良い ・東西駅前広場の印象が良い ・まちのシンボルになった ・駅周辺の景観が良くなった			
	親しみ・愛着	・駅舎や駅前広場に対して、愛着や親しみを感じている ・（完成後1年経って）愛着がわいてきた			
	誇り	・杉産地の歴史に対して誇りを持つようになった ・（完成後1年経って）誇りに思う			
	その他	・地域のシンボルとしての認知、地域らしさについての認知 ・景観やまちづくり、環境等に関する意識の高まり ・住民、行政、設計者、施工者の信頼関係の構築			
利用者行動に与える効果	利用形態・頻度等の変化	・駅周辺へ出向く回数が増加した ・親子連れが遠足に来るようになった（お弁当持参のピクニック）			
	商業活動の活性化	-			
	地域活動の活性化	・駅周辺でのイベントが開催されている			
	近隣住民同士の会話の場	-			
	環境保全、学習活動	・地元小中学生の「まちづくり課外授業」の対象として採用			
施設周辺の空間に与える効果	建物ファサード変化	・定点観測で、杉を用いている店舗をいくつか確認した ・建築に関するルールを策定。建物の屋根を緑色に揃えた			
	その他	・「匠の街」（建築物に関する整備方針）、「日向市駅周辺地区地区計画」を策定			
その他	地場材の活用	・店舗の設計においても、「日向らしさ」の表現のために杉材の使用を意識的にするようになった ・県職員による、杉材に関わる積極的なPR活動			
	外部評価の高まり	・雑誌やメディアの取材が多い			



▲駅のプラットフォームから、景色を眺める人



▲ファサードに木材を用いている建物



▲駅の高架下の様子(24H通り抜け可能)



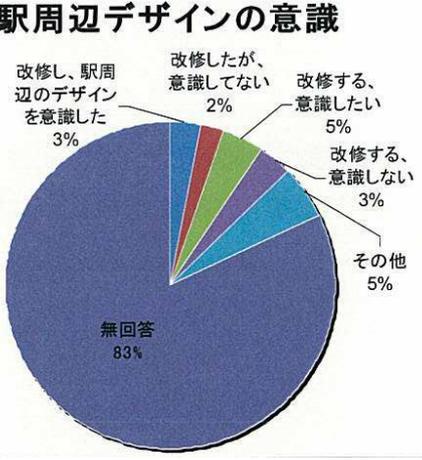
▲駅のプラットフォームから見た景色

2) 調査結果の整理

調査結果の詳細は以下の通り。

景観整備による効果	調査結果	調査手法
<p>①整備した空間の機能向上に対する認知</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅前広場は商売もできるように、レンガ舗装となっている。いろんなことに利用出来る広場づくりは良いと思う 交通渋滞について、「解消された」「やや解消された」(90%) 「東西駅前広場の利便性が上がった」(85%) 「安全面が向上した(自動車)」(85%) 「自転車での東西の行き来が良くなった」(62%) 「安全面が向上した(自転車)」(56%) 「歩行者にとって、東西の行き来が良くなった」(72%) 「新駅舎の利便性が上がった」(83%) <p style="text-align: center;">新駅舎の利便性 駅前広場の利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市役所や職場、病院、買い物に行きやすくなった」 	<p>ヒアリング (地元団体)</p> <p>アンケート (N=253)</p>
<p>意識変化</p> <p>②造形・施設・空間の印象評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎を見て、改めて杉の良さを実感した ホームを降りたときに、木の香りがするのが良い 治安が向上したように感じられる。若者が高架下の明るいところに集まって円陣を組んでいる。普通は暗いところに集まることを考えると、良い効果だと考えられる 「東西駅前広場の印象が良い」(84%) 「駅舎に地場材を使用したところが良い」(88%) 「駅周辺地区の雰囲気、環境、まちの景観が良くなった」(86%) 「杉材を活用したまちづくりが良いと思う」(83%) 駅舎が完成して1年経った感想。「街のシンボルになったと感じる」(47%) 「駅プラットフォームからの街の眺めを気に入っている」(44%) <p style="text-align: center;">駅前広場の印象 駅舎完成1年経った感想</p> <ul style="list-style-type: none"> 「明るくなった」「あたたかみを感じる」「木のおいが良い」「柔らかな印象」「自然を感じる」「開放感がある」 「県外の来訪者も好感をもっている」 	<p>ヒアリング (地元団体)</p> <p>アンケート (N=253)</p>
<p>③親しみ・愛着</p>	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動を始めてから、子供達の意識に変化が見られるようになった。ゴミが落ちていたら積極的に拾うように 	<p>ヒアリング (地元団体)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> なり、「何でゴミが落ちてるんだろうね」といった会話をしている。以前は、JRの駅を自分たちのものと思っていなかった。駅や街に対して、愛着や誇りを感じている ・杉に対して興味を持つようになった 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎が完成して1年経った感想。「愛着がわいてきた」(14%) 	アンケート (N=253)
④誇り	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎が完成して1年経った感想。「誇りに思う」(18%) 	アンケート (N=253)
⑤その他 (地域のシンボル・ランドマークとしての認知、地域らしさの認知/景観やまちづくり、環境等に関する意識の高まり/住民、行政、設計者、施工者の信頼関係の構築)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎がシンボルになっている。まちが元気な証拠だと思う ・清掃活動、イベントの企画・参加等を通して、駅は自分たちのまちの中心と思うようになった 	ヒアリング (地元団体)
	<ul style="list-style-type: none"> ・「日向らしさ」を建物に表現できるよう、また、杉材を意識しながら設計するようになった。できるだけ杉材を使用してもらうために、工夫しながらプレゼンしている 	ヒアリング (店舗設計者)
	<ul style="list-style-type: none"> ・検討体制(住民、行政、専門家の連携)に対する評価も高い。住民、行政、専門家の間には信頼感が生まれた ・当初、住民は行政がここまでやるとは思っていなかった。今は、住民と行政がお互いに感謝の気持ちを持っている ・住民が企画したイベント等を開催できたのも、日向市が多くのチャンネルを持っていたからであろう。イベントを企画した団体が主役になれる実施体制をとっている ・市役所は担当が変わっても、住民に対する姿勢は変わらない。真剣に付き合ってくれる。また、部署や課は関係なく参加する 	ヒアリング (地元団体)
	<ul style="list-style-type: none"> ・景観や建築に対する意識が大きく変わった。以前は、施主の要望が第一で、アドバイスも自分の知識範囲内(建物の敷地内)のみであった。しかし、「街の中での建物」という視点で物事を考えるようになった。広い地図(日向市全体)を広げて議論したため、大きな視点から土地を見るようになった。建物の敷地外について(植栽など)についてもアドバイスするようになった ・WSに参加してからは、「まちづくり」とは何か、と考えるようになった。WSでは、ソフト面を勉強できた 	ヒアリング (店舗設計者)
	<ul style="list-style-type: none"> ・1番驚いたのは、先生方の取り組み姿勢であった。地域に入り込んでとことんやっていた。また、どんなものでも模型を作って、住民に説明をしていた。(誰にでも分かる形で説明をする)この姿勢や手法は見習うべきである 	ヒアリング (事業者 [宮崎県])
利用者行動に与える効果	<ul style="list-style-type: none"> ・延岡から親子連れが遠足に来るようになった(お弁当持参のピクニック) 	ヒアリング (地元団体)
	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道利用者は前年度比2%増 	ヒアリング (事業者 [日向市])
	<ul style="list-style-type: none"> ・「駅周辺の人出が多くなった」(24%) ・「駅周辺へ出向く回数が多くなった」(26%) 	アンケート (N=253)
	<ul style="list-style-type: none"> ・「お客さんは満足してくれている」(13%) ・「商売がしやすくなった」(9%) ・「商売への効果があった」(7%) ・「客数が増えた」(6%) 	
	—	
②商業活動の活性化	—	
③地域活動(イベント)の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕やハロウィンなどのイベントが、まちの中で行われるようになった(ソフト事業の活性化) 	ヒアリング (地元団体)
	<ul style="list-style-type: none"> ・「イベントの開催について、良いと思う」(76%) ・「イベントへの参加について、参加したい」(70%) 	アンケート (N=253)

	<p>④環境保全、学習活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元小中学生の“まちづくり課外授業”の対象として採用 ・地元木材組合の若手グループ“木の芽会”の、積極的なまちづくり参加 	文献														
	<p>⑤施設を核とした避難体制の構築</p>	—															
	<p>⑥近隣住民同士の会話の場</p>	—															
	<p>⑦利用ルールの設定</p>	—															
	<p>⑧樹木の手入れ、花壇の設置</p>	—															
	<p>⑨維持管理活動（清掃等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元活動団体に清掃を行っている 	H: 地元活動団体代表者														
施設周辺の空間に与える効果	<p>①商業活動に関する変化</p>	—															
	<p>②建物ファサード変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファサードの一部に木材を使用（商業施設） 	定点観測														
	<p>③軒先空間の変化</p>	—															
	<p>④周辺景観の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「建物を改修し、駅周辺のデザインを意識した」（9%） ・「建物を改修する予定、駅周辺のデザインを意識したい」（5%） <p style="text-align: center;">駅周辺デザインの意識</p>  <table border="1"> <caption>駅周辺デザインの意識 (アンケート N=253)</caption> <thead> <tr> <th>意識</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無回答</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>改修したが、意識していない</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>改修する、意識したい</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>改修する、意識しない</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>改修し、駅周辺のデザインを意識した</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>	意識	割合	無回答	83%	改修したが、意識していない	2%	改修する、意識したい	5%	改修する、意識しない	3%	その他	5%	改修し、駅周辺のデザインを意識した	3%	アンケート (N=253)
	意識	割合															
	無回答	83%															
	改修したが、意識していない	2%															
改修する、意識したい	5%																
改修する、意識しない	3%																
その他	5%																
改修し、駅周辺のデザインを意識した	3%																
<p>⑤周辺施設の連帯性の向上</p>	—																
<p>⑥視点場の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広場周辺の施設から、子どもたちが電車に向かって手を振っている 	ヒアリング (地元団体)															
<p>⑦その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「匠の街」（建築物に関する整備方針）「日向市駅周辺地区地区計画」を策定 	文献															

その他	地場材の活用/ 地場産業に関わるPR活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「日向らしさ」を建物に表現できるよう、また、杉材を意識しながら設計するようになった。できるだけ杉材を使用してもらうために、工夫しながらプレゼンしている 	ヒアリング (店舗設計者)
		<ul style="list-style-type: none"> ・県の役所の方が、積極的に宮崎の杉情報を発信 	ヒアリング (木材関係者)
	外部の意識変化	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の視察は、公式のもので一年間約60~70団体であった 	ヒアリング (事業者 [日向市])
		<ul style="list-style-type: none"> ・視察は、全国から来ている。分野も、建築意匠、建築構造、都市計画、まちづくり等多岐に及ぶ。全国果物商業組合関係の人まで視察に来た(街が元気だから果物も売れているのでは、と言っていた) 	ヒアリング (店舗経営者)

3) 効果の波及フロー

■日向市駅周辺地区整備の景観整備による効果の波及フロー

